

尼崎閘門・広域高潮対策施設完成のお披露目

設立認証されたばかりのNPO「近畿みなとの達人」もお手伝い

(記事解説)

尼崎閘門(愛称ニロック)と周辺高潮対策施設群を集中管理するコントロールセンターの竣工により、昭和61年の着工以来足かけ20年の工期と約460億円の工費を投じて整備が進められた尼崎閘門のリニューアル整備が完成の運びとなり、去る3月26日に記念式典が行われました。

主催者の近畿地方整備局ならびに兵庫県の関係者のみならず、地元選出の冬柴衆議院議員、鴻池参議院議員、白井尼崎市長他の来賓など多数が出席され、センター内の防災会議室の除幕と高潮扉の遠隔操作のデモンストレーション、タイムカプセルの披露と埋設、記念植樹などの記念行事が行われました。

記念植樹やタイムカプセル関係のイベントについては、当日本港湾協会が先週設立認証されたばかりのNPO法人「近畿みなとの達人」と協力して実施のお手伝いを行いました。NPOにとってもお披露目の場になったようです。

(取材:協会理事算)



式典会場



御製の碑



閘門海側



閘門港内側



藤本局長式辞



藤本副知事式辞



中尾参事官挨拶



鴻池議員祝辞



寺本県議祝辞



白井祝辞尼崎市長



工事概要報告



防災会議室モニタ除幕式



防潮扉遠隔操作



タイムカプセル披露



記念植樹



タイムカプセル



タイムカプセル埋設